

第2回若葉区地域福祉計画策定委員会議事要旨

1 日 時：平成17年 2月19日(土) 14時00分～16時40分

2 会 場：都賀CC サークル室

3 出席委員：25名中14名出席

花島委員長、奥井副委員長、阿部委員、嶺委員、金子委員、
砂長谷委員、長谷川委員、金高委員、高見委員、川崎委員、
肥田木委員、池野委員、丹野委員、松尾委員

欠席委員：青柳委員、梶川委員、永原委員、間々田委員、東委員、岸岡委員、
安達委員、尾崎委員、須藤委員、安藤委員、真野委員

事務局：北田(保健福祉総務課)

4 会議内容

議題に入る前に策定委員の自己紹介が行われた後、次第に従って会議が進められた。

(1)平成17年度のスケジュールについて

事務局より、資料「平成17年度若葉区地域福祉計画策定スケジュール(案)」を説明し、下記のような協議を経て案のとおり承認された。

<主な質疑・意見>

委員 策定作業を行っていく途中で、フォーラムからの意見を伺う機会や高齢・障害・児童等の専門分野の方から意見を伺う機会を設けていただきたい。

事務局 フォーラムからの意見については、次年度に予定されているフォーラム開催が作業の中間報告的な場となるため、ここで行う予定であり、場合によっては郵送等による意見照会をかけることもあり得る。また、専門分野の方の意見聴取は、作業の進行状況を見ながら対応させてもらいたい。

委員長 策定委員会の開催時間は、毎回、日曜の午前中に設定させてもらった。不都合があれば調整するが。(特に、異論がなく了承された)

委員長 基本方針ごとの検討は、作業部会員をグループ分けして各自で検討し、作業部会に持ち寄って揉むような形にしたい。作業部会の開催は、月一回から2回程度を予定している。

(2)基本方針の検討について

委員長より、基本方針の検討については、今まで各フォーラムごとに検討してきたキーワードを生かし、重複したり互いに関連するキーワードを集約して整理した結果、4つの基本方針を立てることとし、作業部会員からの提案も踏まえて案を作成したとの説明がなされた。

この後、事務局より、資料「若葉区地域福祉計画基本方針（案）」を説明し、下記のような協議を経て、の方針案から「福祉教育」「人材育成」のキーワードを独立させ、新たな5つ目の方針案を立てること、また文言の修正等、再検討を要するところは作業部会に一任いただき、作業を進めさせてもらうことを含め、現段階での暫定案として承認を得た。

<主な質疑・意見>

委員 作業部会員以外の策定委員がせっかく今回見えているので、意見や感想をまず伺ってほしい。

委員 基本方針（案）の表現が「.....の仕組みを作りましょう」という形をとっているところは、柔らかい表現で印象がよい。

主な事業イメージのところは、今後、より具体的に検討して行ってほしい。

委員 総論までは抽象的でもよいが、事業イメージのところは、様々な事業が、総花的に掲載されており、地域の福祉計画として具体的な項目を絞り込んで事業化していく必要がある。

委員 「交通問題」や「防犯」まで果たして地域福祉の範疇なのか。

委員 防犯パトロールなどをきっかけとした地域活動を、福祉に生かすような視点で考えればよいのではないか。

委員 方針案の文言についてであるが、「.....の仕組み」という表現で整合を図っているのはよい。この点で言えば の「相談できる仕組み」は「伝え合いの仕組み」などとしてはどうか。

また、方針の順序であるが、例えば関係の深まり度合いを考慮し、見守りの仕組み ふれあいの仕組み 伝え合いの仕組み 支え合いの仕組みなどとしてもよいのではないか。

委員 健康医療、教育まで取り込んだコミュニティーづくりの視点が必要。「その人がその人らしく」「人権」などの視点、「福祉文化の醸成」、「学校との連携」の視点。次世代をになう子どもを育てる視点などは特に重要である。

委員 何が福祉で、何が福祉ではないのか。それぞれの領分で努力をしてい

ただいた上でつながりを生かす。広げ、横につなげるきっかけに地域福祉がなる。福祉でまちづくり。縦割り福祉の横をつなげるしくみが「地域福祉計画」なのでは。

委員 本場に4つの基本方針でくくれるのか。課題は出尽くしたのか。
コミュニティの再構築ということが最大のテーマとなるのでは。

委員 やはり「育てる」仕組みは必要。
また、「縦系と横系」の関係をうまく表現できないか。

委員 地域住民が自らやれるものは自分でやる、人と協力してやる、制度としてやるという考えの中で、地域の財産は、やはり「人材」である。
その人材をどう地域福祉に取り込むか。そして継続的に活動していくための工夫が必要である。

委員 コミュニティーなくして地域福祉はできない。
5番目の項目として「育てる」を視点に、「地域の福祉力、福祉の町づくりの人材を育てる仕組みを作りましょう」といった方針をたててはどうか。

(3) その他

委員長より、方針ごとの作業分担について、次回の作業部会で検討する旨の発言がなされ、了承を得た。

事務局より、若葉保健福祉センターの4月開設に伴う内覧会(3・27)の開催周知、及び参加の呼びかけを行った。

最後に、次回の作業日程の確認を行った後、閉会とした。